

2022年4月26日（火）
株式会社カオナビ

紀陽銀行が、タレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入

行員のスキル・経験の“見える化”や戦略的マネジメントを実現し、地方銀行のDXを推進

株式会社カオナビ（本社 東京都港区、代表取締役社長 CEO 柳橋 仁機、以下「当社」）は、紀陽銀行（本店 和歌山県和歌山市、取締役頭取：原口 裕之、以下「同行」）がタレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入し、運用を開始したことをお知らせします。



■導入の背景と今後

政府・日銀主導で「地銀再編」が加速する中、地方銀行は人口の減少や超低金利の長期化、さらにはコロナ禍による地域経済のダメージなど、厳しい経営環境にさらされており、生き残りをかけた経営改革の必要性に直面しています。今後、地方銀行が持続可能なビジネスモデルを構築するためには、DXを戦略的に取り入れながら、顧客ニーズの発掘、社内業務の効率化を図っていくことが求められています。

そのような中、和歌山県に本拠を置く唯一の銀行である「紀陽銀行」は、1895年の設立以来、「より多くの地域の人々に貢献すること」を掲げ、地域社会に密着した営業活動を展開しています。そして、更なる持続的な事業成長を実現するため、今年度からは「働きがいを感じ、人が輝く」人事制度を構築し、多様な人材の活躍を推進するため、クラウド上で行員のスキル・経験を“見える化”し、適切な人事評価や人材配置、育成・登用など戦略的なタレントマネジメントを効率よく実施したいと、「カオナビ」の導入を決定いただきました。

同行のDX推進の一役を担い、今後は更なる人事業務の効率化はもちろんのこと、行員のエンゲージメント向上など、当社としても最大限に支援していきたいと考えています。

■株式会社カオナビについて

株式会社カオナビは、社員の個性・才能を発掘し、戦略人事を加速させるタレントマネジメントシステム「カオナビ」を提供しています。企業の人材情報をクラウド上で一元管理し、社員の顔や名前、経験、評価、スキル、才能などの人材情報を可視化することで、最適な人材配置や抜擢といった戦略的なタレントマネジメントの実現を支援しており、現在では2,300社※1を超える企業に利用いただき、6年連続で国内No.1シェア※2を獲得しています。

※1：2022年2月現在

※2：出典 ITR「ITR Market View:人材管理市場 2021」人材管理市場-ベンター別売上金額シェアで6年連続1位（2015～2020年度予測）

所在地：東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア 15F・16F

設立：2008年5月27日

代表者：代表取締役社長 CEO 柳橋仁機

事業内容：タレントマネジメントシステム「カオナビ」の開発・販売・サポート

会社HP：<https://corp.kaonavi.jp/>

<本プレスリリースに関しまして>

- ・本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・プレスリリースに掲載されている内容、サービス/製品の価格や仕様その他の情報は、発表時点の情報です。予告なく変更する場合があります。

<報道機関からのお問い合わせ>

株式会社カオナビ 広報担当

TEL：03-6633-3251 MAIL：pr@kaonavi.jp